

病院内でのマスク着用ルールの変更について

令和8年8月1日（土）より

原則：患者さん・職員ともに「個人の判断」

新型コロナウイルスの感染リスク・重症化リスクの低下等を鑑み、院内でのマスク着用ルールを以下の内容に変更します。

マスクなしでも可能



個人の
判断

- 患者さん・職員ともに、症状がない場合は個人の判断とします。
- 待合室・売店など、通常の院内利用時はマスクなしでも差し支えありません。
- 周囲へのご配慮として、必要に応じてマスクをご使用ください。

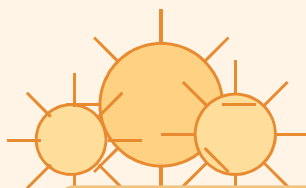
マスク装着をお願いする場合



咳・くしゃみ
鼻水などが
ある時

- 咳・くしゃみ・鼻水等の症状がある方には、咳エチケットとしてマスク装着をお声がけする場合があります。
- 職員は、飛沫が発生する診療時や、自身に咳などの上気道症状がある時にマスクを装着します。
- 飛沫感染等の対策が必要な患者さんの診療時は、マスクを装着します。

流行時の対応 ユニバーサルマスクングを検討します



飛沫感染する感染症（新型コロナ、インフルエンザなど）が流行している場合院内全体でのマスク着用をお願いする運用を検討します。

※感染状況により、掲示内容や職員からのご案内が変わる場合があります。

皆さまへのお願い

- 発熱・咳など体調不良がある場合は、来院時に職員へお声がけください。
- マスク着用を希望される方は、引き続き着用いただけます。
- 患者さん同士・ご家族・職員が安心して過ごせるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



音羽リハビリテーション病院

RAKUWAKAI OTOWA REHABILITATION HOSPITAL

感染対策へのご理解とご協力をお願いいたします